

10 これからの宇美町
(1) 宇美町のシンボル



宇美町の町章

● 宇美町の町章

宇美町の町章は、カタカナのウとミを組み合わせて鳥の翼を描いたものです。背面の色は、自然を表す緑です。豊かな自然と歴史や伝統を大切にしながら、文化都市として飛躍・発展していく宇美町を表しています。

● 宇美町の花と木 (町制施行65周年を記念して制定)

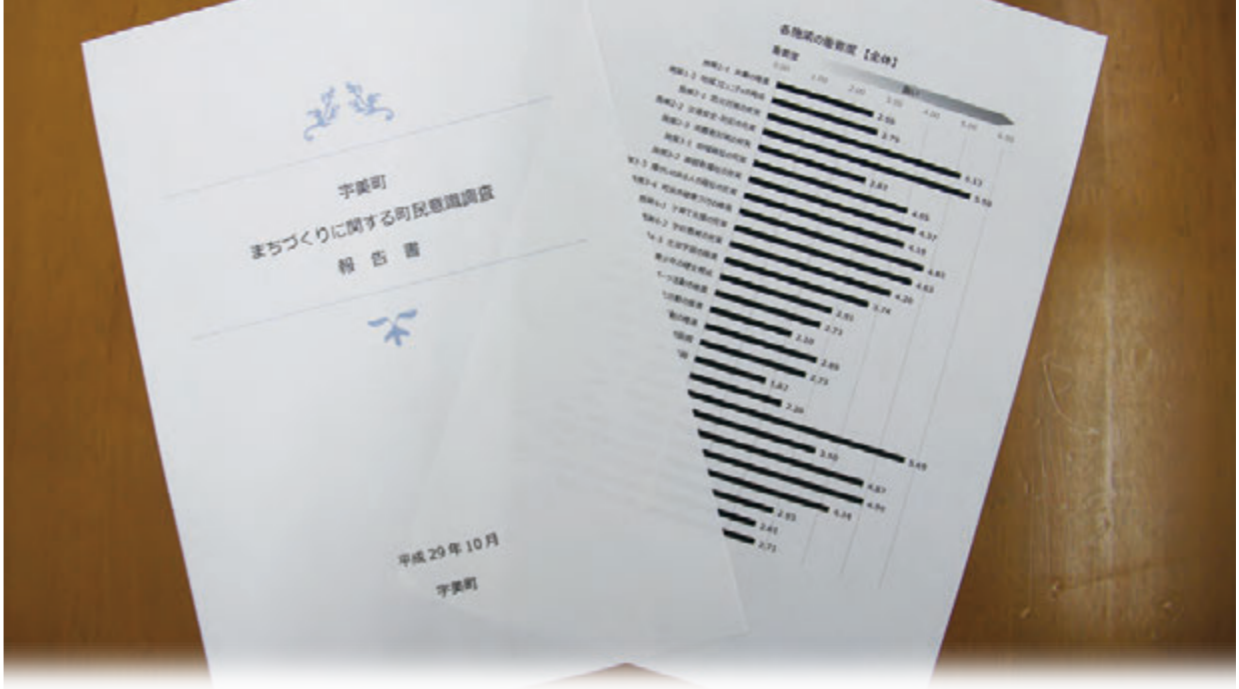
■ 宇美町の花 (ツクシシャクナゲ)

ツツジ科の常緑低木で、直立するものは高さ3m、直径15cmほどになります。三郡山系に多く自生し、耐寒性が強く筑紫路に咲く花としてひととき美しくかれんで、薄桃色の花は人々の心をなごませてくれます。



■ 宇美町の木 (くすの木)

クスノキ科の常緑高木で、材は堅く香気があります。宇美町の象徴ともいえる宇美八幡宮の神木でもあり、樹齢2,000年を経た湯蓋の森、衣掛の森で知られる大樟は、国・県の天然記念物に指定されています。



(2) 暮らしの願いと政治の働き

① 町民の願いと町議会

議会は、町民から選ばれた人たちが集まって話し合いをする場所です。

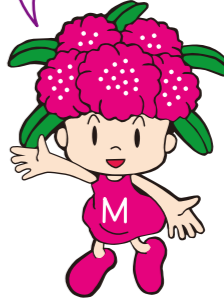
宇美町に住んでいる人にとって、もっと住みやすい町にするため、町民のみなでまちづくりの問題を話し合っていくことが大切です。

しかし、すべての課題に対して町民全員が話し合っ決めてるのはとても難しいことです。

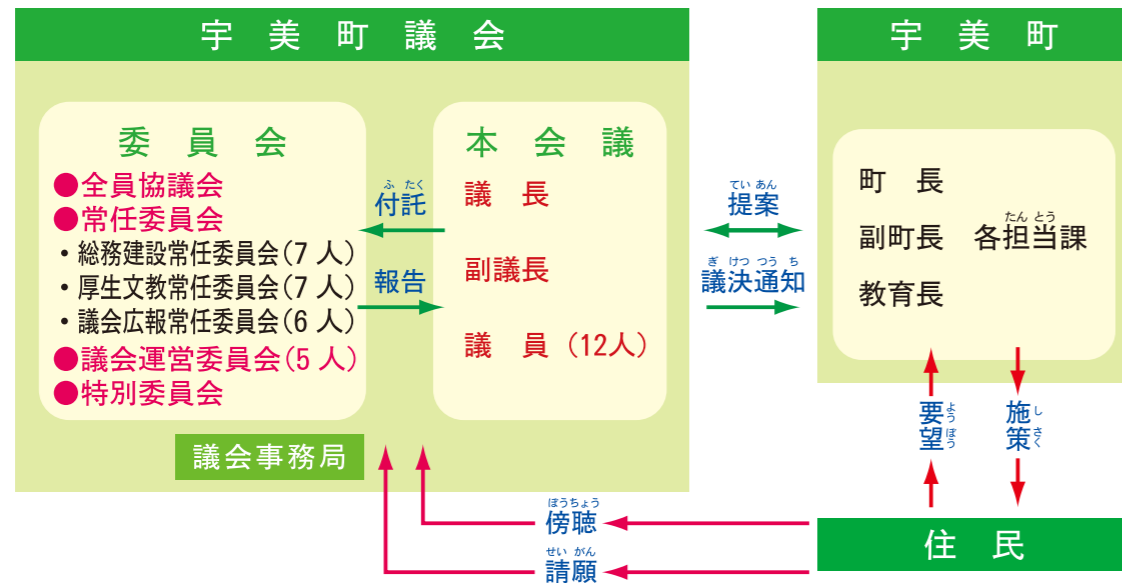
そこで、自分たちの意見や願いを託す議員を選挙で選びます。

町民意識調査
町民の願いを詳しく正確にとらえるために、町が行うアンケート調査

町議会の仕組みや働きが、自分たちの生活にどのように関わっているのか調べてみましょう。



町議会の仕組みと働き



宇美町議会は、14人の議員で成り立っています。議会には、全議員が一緒に話し合う「本会議」と、一部の議員で専門的な分野ごとに話し合う「委員会」等があります。

本会議は、3月・6月・9月・12月の定例会と必要に応じて臨時会が開かれます。町の決まりとなる条例を定めたり、お金の使い道となる予算を決めたりします。

委員会等は、議会から付託（議会から内容を詳しく調べることや議論することを任せられること）された案件の審査・調査を行う常任委員会と、特定の案件について審査する特別委員会、議会をどのように運営するかを話し合う議会運営委員会、そのほかに全議員で話し合いまたは、

意見の調整をする全員協議会があります。

議会事務局は、議会の資料や話し合いの記録を作るなど、議会をスムーズに進行するための事務を行っています。

宇美町議会は、これらの活動を広く町民に知らせていくために、「うみ議会だより」を発行しています。

また、議会は公開されており、「本会議」のようすを自由に見たり聴いたりできるようになっています。

議会だよりには、議会の活動内容や本議会の内容（議員の町の政治に対する提案・質問と役場の答弁）が詳しく書かれています。



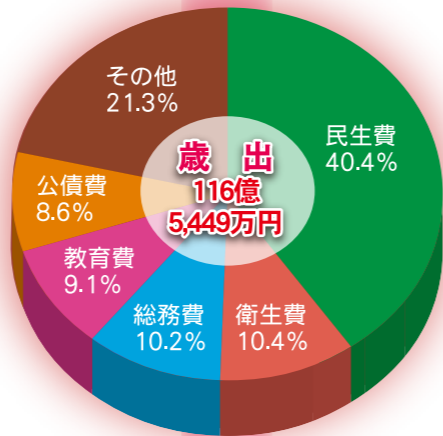
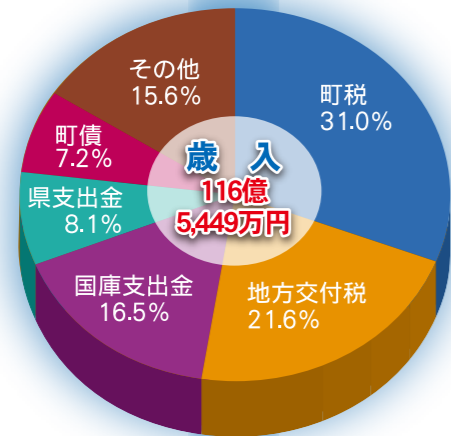
町議会のようす



これからの宇美町

宇美町の予算

平成31年度当初予算
歳入 (宇美町に入ってくるお金)
歳出 (宇美町のお金の使いみち)



町税 約36億円
 町民のみなさんが納める税金です。

地方交付税 約25億円
 国から町へ交付されているお金です。

国庫支出金 約19億円
 国が使い道を指定して町へ支出するお金です。

町債 約8億円
 町が国や銀行などから長期に借りているお金です。

県支出金 約9億円
 福岡県が使い道を指定して町へ支出するお金です。

その他 約18億円
 貯金からおろしたお金や施設の使用料、証明書の発行手数料などです。

民生費 約47億円
 福祉関係のお金です。保育所、介護保険、障害者福祉などに使われています。

衛生費 約12億円
 保健・環境関係のお金です。予防接種、健康診断、ごみ処理などに使われています。

総務費 約12億円
 役場の運営関係のお金です。建物管理、コンピュータ管理などに使われています。

公債費 約10億円
 町が国や銀行などに返すためのお金です。

教育費 約11億円
 小・中学校の運営や図書館・社会体育施設などに使われています。

その他 約25億円
 土木費、消防費、農林水産業費、議会費などがあります。

歳入はお家の人の給料、歳出は家で使うお金と考えるといいね。



また、議会では上図のような予算を決めています。

町民・国民からの大切な税金をどのように使うと町民のくらしがよくなるのかを議会で話し合います。



宇美町役場



窓口で対応している町役場の職員



測量する町役場の職員

②町役場の仕組みと働き

町議会で決められたことは、早速実行に移されます。その具体的な内容を計画し、実際に仕事を進めるところが、町長を中心とする町役場です。

宇美町役場には、わたしたち町民の豊かな生活を実現するための課(局)があって、仕事を分担して協力しながら働いています。

職員の数は約200人で、窓口で相談に応じたり、書類作成の事務をしたり、実際に町をまわったりしながら、住みよいまちになるよう仕事をしています。

宇美町役場のようすを見学しよう。どんな仕事をしているのかインタビューするのもいいね。



①事前連絡

②インタビューの前に

- ・何のために
- ・誰に
- ・どんなことを、たずねるのかメモしておきましょう。

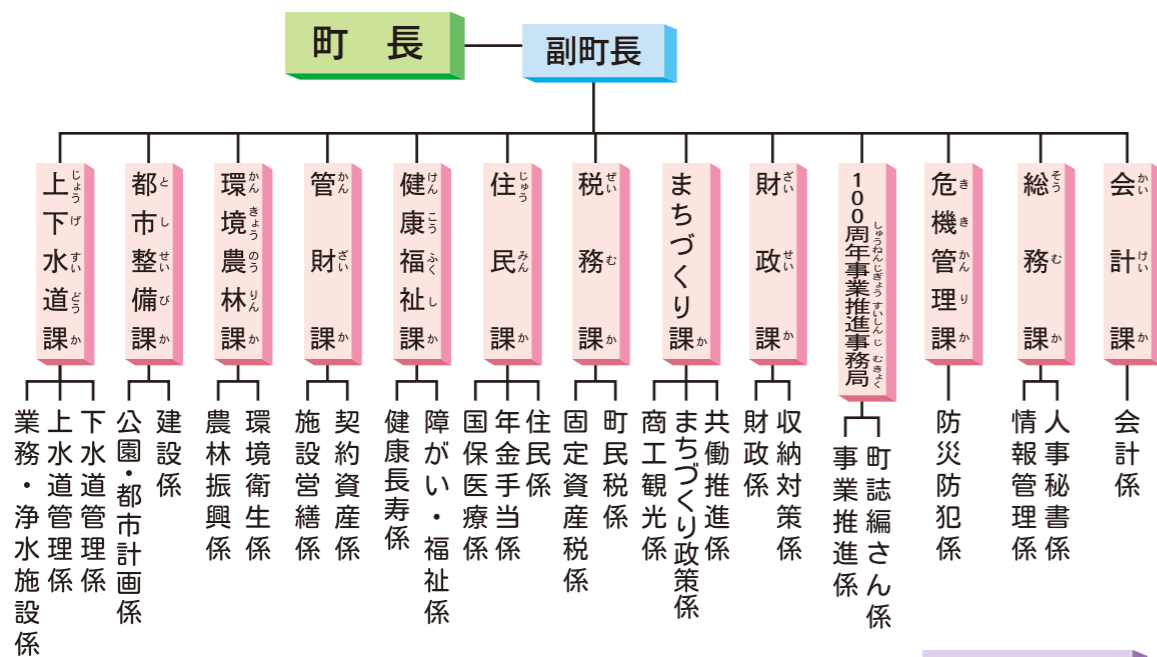
③インタビューするときは

- ・自己紹介
- ・インタビューの目的
- ・たずねたいこと
- ・資料等を借りられるか
- ・お礼

◇ 写真をとったり、録音したりするときは、相手に許可をもらってからにしましょう。

いろいろな課(局)や係

— 令和2年3月31日現在 —



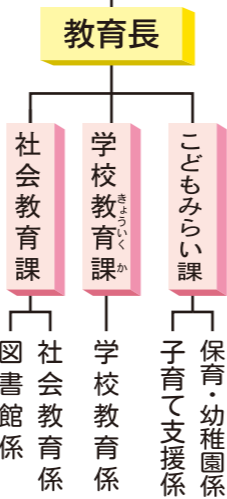
農業委員会
(環境農林課兼務)

議会
議会事務局
議事庶務係

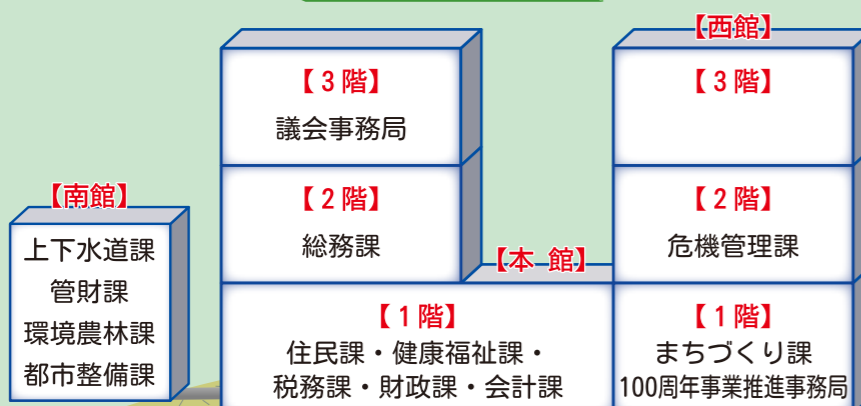
監査委員
監査委員事務局

選挙管理委員会
(住民課兼務)

教育委員会



宇美町役場配置図



【出先機関】
■地域交流センターうみ・みらい館
〔1階〕町立図書館
(社会教育課図書館係)
〔2階〕100周年事業推進事務局
(町誌編さん係)
■住民福祉センター
社会教育課
■こども教育総合支援センター
うみハピネス
こどもみらい課
学校教育課

広報「うみ」



こうした町役場の取り組みは、月一回各家庭に配られる“広報うみ”で詳しく紹介されています。事業報告だけでなく、特集コーナーや情報コーナーなど、“広報うみ”には町民に役立つ情報がたくさん載っています。すべての年代の人たちが読んで楽しく分かりやすい誌面作りを工夫しています。

また、町役場の取り組みや情報は宇美町ホームページでも紹介されており、インターネットを通じて町外の人々も宇美町のことを知ることができます。

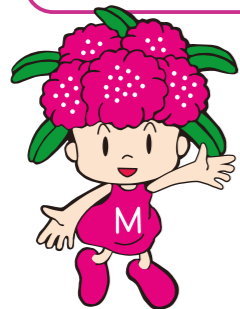


「広報うみ」には身近で詳しい情報がたくさんつまっているよ。みんなも手に取って読んでみましょう。



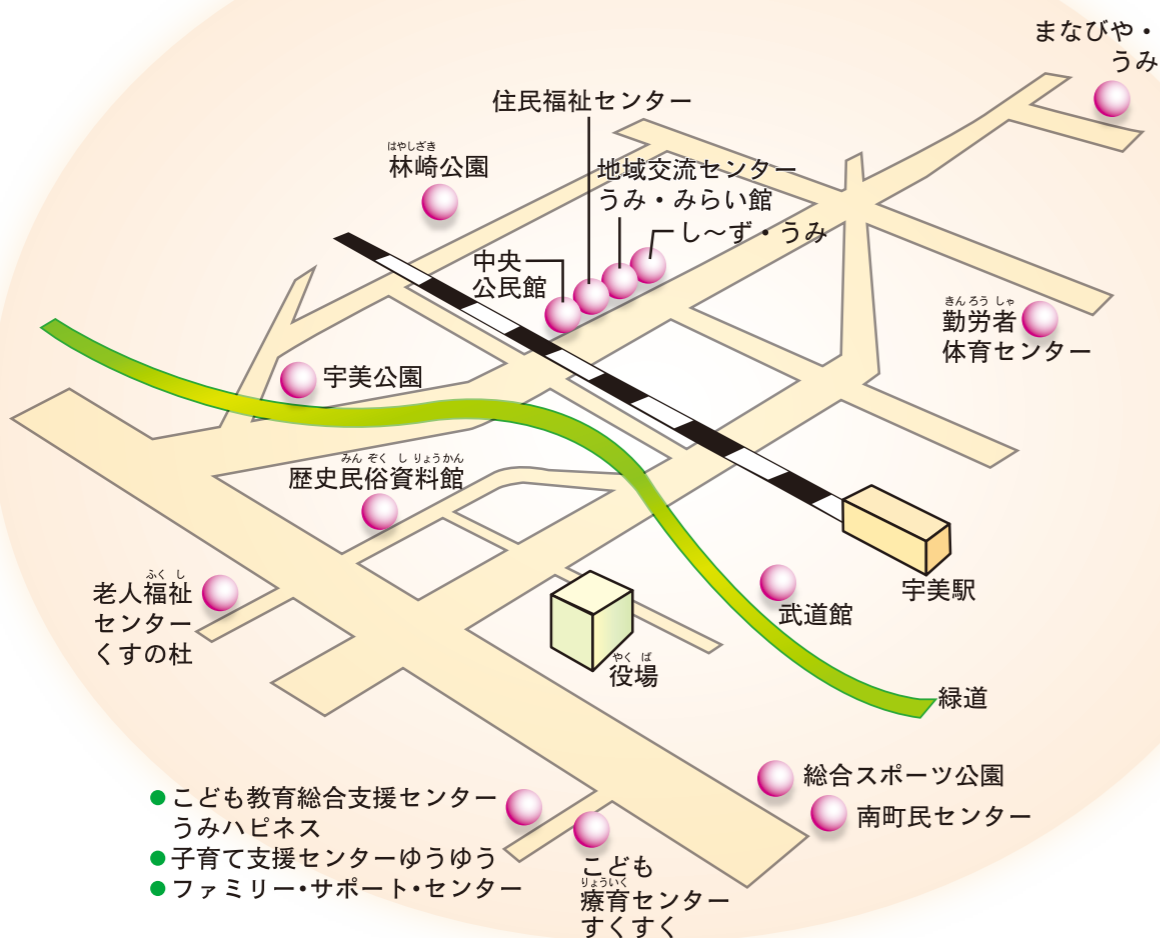
③宇美町の公共施設

宇美町の公共施設を利用した経験をもとに、施設や利用者の方について話し合いました。



宇美町には、町民の願いによって建てられた多くの公共施設があります。公園や公民館、資料館、体育館などわたしたちにとって身近な施設ばかりです。そこでは、さまざまな文化活動や体育活動などが行われ、町民の交流の場となっています。

宇美町のおもな公共施設



地域交流センターうみ・みらい館
くらしの中で本に親しんだり、研修を行ったりする場として2007年（平成19年）に建設されました。図書館があり、たくさんの町民が利用しています。



住民福祉センター
町民の福利・厚生を目的として1977年（昭和52年）に、建設されました。バレーボールなどのスポーツ活動やかるたなどの文化活動が行われています。



中央公民館
町民の身近な学習・交流の場として1979年（昭和54年）に建設されました。たくさんの方々が集まる講演会や文化のつどいなどが開かれています。



こども教育総合支援センター うみハピネス
町民の保健と福祉の中心施設として1997年（平成9年）に建設されました。2020年（令和2年）より「こども教育総合支援センター」と改称され、子育てと教育の拠点施設となりました。

特に、「中央公民館」「住民福祉センター」「うみ・みらい館」「し〜ず・うみ」が並ぶゾーンを「ふみの里まなびの森」とよび、それぞれの施設が連携しながら町民のみなさんの学習や活動をサポートしています。

(3) 宇美町のまちづくり計画

宇美町では住みよいまちづくりのためにこれまで6次の総合計画をつくり、その実現を目指してきました。

①第1次総合計画(昭和46年度～55年度)

昭和38年に宇美町内最大だった炭鉱が閉山しました。

宇美町は、恵まれた自然環境と福岡市に近いという地理的な特性を生かして、有力なベッドタウンと軽工業地域としての発展を目指しました。

②第2次総合計画(昭和56年度～平成3年度)

宇美町の人口は、昭和52年に2万人を突破し、昭和55年には約2万4千人に急増しました。自然環境と生活環境の調和を大切にしたまちづくりを進めました。

いくつもの団地が開発され、新しい小・中学校が開校しました。勤労者体育センターやし～ず・うみなどが完成し、下水道工事が着工しました。



昭和の森

昭和の森にバンガローができたのは昭和63年なんだよ。



③第3次総合計画(平成4年度～13年度)

人々の価値観や生活様式が変化し、都市的な環境づくりが求められました。下水道工事が進み、一部で使用が開始されました。「うみハピネス」や総合スポーツ公園など、健康づくりのための施設が充実しました。旧国鉄(現在のJR)の勝田線の跡地は緑道として整備され、宇美駅前広場が完成して、町の玄関口が新しくなりました。

④第4次総合計画(平成14年度～23年度)

地域の課題が多様化し、住民と行政が一緒に対応することが重要になってきました。

図書館と生涯学習センターの役割をもった「うみ・みらい館」が開館し、まちづくりを担う人材の育成を目指しました。

また、ごみの減量とリサイクル社会の実現を目指して、隣接する志免町と共同でリサイクルセンターを建設しました。



宇美駅前広場



宇美町生涯学習の
マスコット
「トンボのふみちゃん」

生涯学習

一人ひとりが自分の人生を楽しく豊かにするために、生涯のいろいろな時期に学習やスポーツ、文化活動、ボランティア活動、趣味などさまざまな活動を行うこと。

⑤第5次総合計画(平成23年度～26年度)

人々の価値観は「物の豊かさ」から「心の豊かさ」へ変化し、多様化してきました。

宇美町では、自然・歴史・文化・人材などを生かしながら、地域の住民、行政、企業などが共に力を合わせて、「わがまち・宇美」を誇れるまちにするための取り組みを始めました。子育て支援センターやファミリーサポートセンターを開設し、子育てを地域全体で支える環境づくりを行いました。また、ボランティア・町民活動支援センターを開設して、防犯や福祉、環境など地域の様々な課題に取り組むボランティアを支援しました。



子育て支援センター「ゆうゆう」

⑥第6次総合計画(平成27年度～令和4年度)

宇美町は福岡市のベッドタウンとして発展してきましたが、近年、人口は減少し高齢者の割合も高くなってきています。また、全国各地で大きな災害が発生していて、住民の安全・安心に対する関心もとて高くなってきています。

家庭や地域が協力し合い、町全体で子どもを育てようとしているんだね。



宇美町では「ひと」や「地域」や「まち」が輝き、いつまでも住み続けたいと思えるふるさとを守り、未来の世代に引

き継いでいくまちづくりを町民と行政が共に力を合わせながら進めています。

各小学校区においては、小学校区コミュニティ運営協議会が発足し、地域の様々な課題を解決するための取り組みを行政と一緒に進めています。

(4) 周りの市や町との協力

交通手段等の発達により、通勤、通学をはじめ、文化・スポーツ交流など町民の生活行動範囲は拡大し、そのライフスタイルは多様化しています。住民が求める行政サービスも多様化、高度化して、まちづくりにおいて難しいことが増えてきました。そこで、「一つの町だけではできないことも、たくさんの町が力を合わせればできるようになるのではないか」という考えで、宇美町は他の市や町と共同で取り組みを始めました。

現在では、医療、保険、ごみ処理、上下水道、消防、防犯など様々な分野で周りの市や町と協力しています。

宇美町が周りの市町と協力して行っている主な事業



粕屋中南部 休日診療所

休日診療

一ヶ所に集中して診療することで、急な手当が可能です。



クリーンパークわかすぎ

ごみ処理

もえるごみを大量に処理して、固形燃料をつくっています。



多々良川 浄化センター

下水処理

博多湾や多々良川の水質保全のため効率的に処理しています。



筑後川大堰

水道事業

福岡地区の水不足を補うため筑後川の水を利用しています。

周りの市や町とどんな協力をしているのか調べてみましょう。





宇美八幡宮



光正寺古墳



宇美町消防団

(5) まちづくりの^{しょうらいぞう}将来像

わたしたちの宇美町は、かつては炭^{たん}鉦^{こう}の町として栄えました。炭鉦閉山後は、福岡市のベッドタウンとして発展^{はつてん}し、豊かな自然を大切に守りながら住宅^{ちゅうたく}地の開発^{かいはつ}や公共施設^{こうきょうしせつ}・道路整備^{どうろせいび}などのまちづくりをすすめてきました。

しかし、少子高齢化^{しょうしこうれいか}や情報化^{じょうほうか}が進み、社会^{しゃかい}が大きく変化^{へんか}したため、新しいまちづくりのかたち^{かたち}が求められています。

今後は、町民^{ちやうみん}、行政^{ぎやうせい}、企業^{きぎやう}などが共に力を合わせて、地域^{ちいき}の課題^{かだい}を解決^{かいけつ}していくことが必要^{ひつよう}です。

新しいまちづくりに向けて、どんなことを大切にしたり、工夫したりしていけばいいのかな。



子育てサロン



奉納相撲

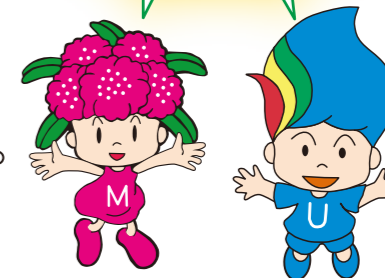


グラウンドゴルフ

宇美町は、自然・歴史・文化・人材などの「輝く資源」を生かして、わたしたちの町が活力あふれる豊かな町、住んでよかったと思える町となるように、まちづくりを進めていきます。

よりよい宇美町にするためにどんなことが必要か、友達のために、家族のために、みんなのためにできることがないか、一緒に考えていきましょう。

よりよい宇美町にするために、これからどんなことが必要か、みんなで話し合ってみましょう。



米づくり体験(小学校)



職場体験学習(中学校)



①地域コミュニティの活性化

宇美町では、地域みんなで力を合
せて活動する新たな仕組みとして、小
学校区を単位とした地域コミュニティ
の推進に取り組んでいます。

地域コミュニティとは、地域をより
良くすることを目的に結成された集団、
組織のことで、地域に暮らす人たちの
交流の場であり、その活動を活性化さ
せることにより、「自分たちのまちは
自分たちでつくる」という自治意識が
高まり、ふるさとへの愛着、誇りを持
つことにつながります。



桜原小校区コミュニティ 通学路の見守り



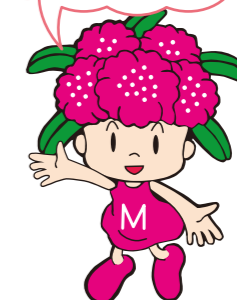
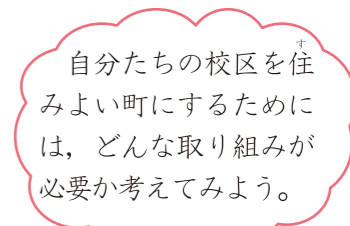
宇美小校区コミュニティ 防災訓練

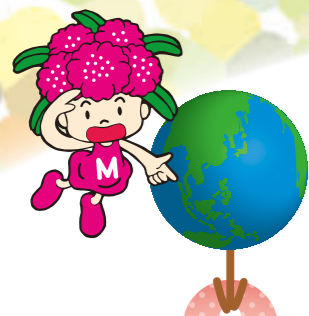
また、町民同士の信頼関係やつながりが生まれること
で、防災や防犯対策などにもつながり、いざという時に
助け合うことができます。

宇美町では、「自助」「互助」「共助」「公助」のバラ
ンスの取れた共働によるまちづくりを目指しています。

各小学校区に組織されたコミュニティ運営協議会では、
それぞれの地域の実態に合わせて、
様々な活動を行っています。

また、各小学校区コミュニティ運営
協議会の役員が定期的に集まって、役
場の担当課等と、まちづくりについて
の話し合いを行っています。





宇美町に住む外国の人はどこから来たの？

- ◎第1位 ベトナム
- ◎第2位 フィリピン
- ◎第3位 中国

そのほか韓国やアメリカからも来ています。

宇美町に住んでいる外国人の国について調べてみましょう。



韓国扶餘（プヨ）

韓国中部にある都市で、2010年百済の国を再現した百済歴史団地が完成しました。扶餘にはたくさんの歴史に関する建物があり、2015年には世界遺産に登録されたものがあります。

②国際交流

今、日本には多くの外国人が観光で、おとずれたり、住んだり、働いています。

わたしたちの宇美町にも、約400人の外国人の方が住み、さまざまな職場で働いています。このような中、ますます外国のことや人を知り、お互いを理解することが大切になってきます。

宇美町では、国際理解をはかるためにいろいろな取り組みをしています。

(1) 町の取り組み

宇美町役場の公式ホームページは、外国の人でも利用できるように、英語・中国語・韓国語に対応できるようになっています。

また、役場の窓口も英語・中国語・韓国語の案内が設置されています。

①大韓民国扶餘との交流

宇美町では、おとなりの国で、文化的にもつながりの深い韓国と、お互いの生活や文化を学び、親善を深める目的で、昭和61年から韓国の扶餘（プ



韓国研修

ヨ)の小中学生と相互交流をしてきました。

交歓の旅では、それぞれの歴史資料館や歴史に関する建物を見学し、お互いの国の文化や歴史を学びます。

韓国の人たちが来た時には、宇美八幡宮や大野城跡を見学します。また、それぞれのホストファミリーの家のホームステイをして、ふだんの生活の様子を体験します。

(2) ボランティア交流

わたしたちの周りにも、交流を行っている民間団体があります。

①Enjoy（エンジョイ）

日本人と外国人が直接交流する事でお互いの文化にふれ、お互いを知り合うとともに、宇美町に住んでいる外

国の方の手助け^{て だす}をすることを目的に活動しています。外国の人が一番困^{こま}っているのは、言葉^{こと ば}です。そこで、日本語サポートとして、通訳^{つうやく}のお手伝いをしています。また、言葉だけでなく、生活していく上で困っていることをいろいろサポートしています。

また、宇美町に住んでいるさまざまな国の人をまねいて、その国の生活や文化の様子を話してもらい、その国の本当のすがたを知ってもらっています。

②フレンドシップ英語

実用的な英会話を学び、身につけた英語のコミュニケーション力を活かして、海外の方とのコミュニケーションを支援^{し えん}することや宇美町の案内^{あん ない}ができるように活動しています。

月2回の定例^{てい れい}の学習会^{がくしゅうかい}で、簡単な英会話を学んだり、宇美町を訪^{おとず}れた外国の方を宇美八幡宮^{うみはちまんぐう}や光正寺古墳^{こうしょうじこふん}に案内したりもしました。宇美町観光パンフレットの英語版^{ばん さくせい}を作成しています。



(6) 町制施行100周年を迎えて

宇美町は2020年糟屋郡で最初に町制施行100周年を迎えます。この記念すべき大きな節目^{きねん}を町民あげてお祝いするとともに、大切にしてきた歴史・文化など宇美町の魅力^{みりょく}を再認識^{さいにんしき}・再発見^{さいはっけん}し、それらを次世代や町内外に発信^{はっしん}することにより更なる町の発展^{はってん}につなげようと様々な記念事業^{きんぎょう}が行われます。

町では100周年の3年前(2017年)から取り組みをはじめ、シンボルマーク・キャッチフレーズ募集には、全国^{ぜんこく}から合計721件の応募^{おんぼ}があり、宇美町の小学生もたくさん参加^{さんか}しました。採用^{さいよう}されたシンボルマーク・キャッチフレーズは横断幕^{おうだんまく}やのぼり旗^{はた}、ポスターに掲載^{けいさい}して町内の至^{いた}るところに掲示^{けいじ}されています。

2018年には、イベントとして、5月に宇美八幡宮^{はちまんぐう}境内で「ジャパンコーヒーフェスティバル」が、2019年の10月には「巨木を語ろう全国フォーラム」が開催^{かいさい}され、全国から多くの方が宇美町を訪^{おとず}れました。



ジャパンコーヒーフェスティバル



巨木を語ろう全国フォーラム

2020年には、記念イベントとして、1月にスポーツ能力測定会が開催され、町内外から1,000人を超える参加がありました。小学生から高校生までが6種類の測定種目の結果から自分に合ったスポーツを分析しました。

また、2月には第4回蹴—1グランプリ福岡大会が開催され、60チームが5人1組で熱戦を繰り広げました。

その他にも、町民自らが企画提案した事業も数多くあり、4月から翌年2月にかけて、25事業が実施される予定です。たくさんの方が関わって、町を活性化し、新しい宇美町を創っていきましょうとしています。



スポーツ能力測定会



蹴—1グランプリ福岡大会

宇美町の未来予測をしよう

10年後の宇美町、20年後の宇美町がどのような町になっているかな。
また、わたしたちの願いを書き出してみよう。

わたしたちの5年後……

わたしたちの10年後……

きっと20年後は高齢化社会になるので、高齢者にとっても住みやすいバリアフリーの町になっているといいな。

わたしたちが子育てする大人になったときに、育児や介護などを地域が手助けしてくれる施設が増えるといいな。

宇美町の歴史・文化・自然を体験できるテーマパークがあると宇美町のよさをさらに発信できるよね。

総合公園をつかって緑豊かな住みよい町になるといいな。

